



1 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和7年9月に公表した「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第1回）」の概要は、次の通り（表1～3。詳細は2025年11月号参照）。

令和7砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：178万7000トン（前年度比0.2%減）

総供給量：178万2000トン（同1.6%減）

【加糖調製品】

消費量および供給量：36万7000トン（同0.8%増）

【異性化糖】

消費量および供給量：78万トン（同2.1%増）

表1 令和7砂糖年度における砂糖の需給見通し

(単位：千トン)

			令和6砂糖年度 (実績見込み)	令和7砂糖年度				
				10月－12月	1月－3月	4月－6月	7月－9月	合 計
消費量	分蜜糖		1,752	470.9	404.8	439.3	435.0	1,750
	含蜜糖		38	7.6	11.8	9.8	7.9	37
	合 計		1,790	478.5	416.6	449.1	442.9	1,787
供給量	国内産糖	分蜜糖	683	320.7	275.1	47.0	-	643
		含蜜糖	11	1.2	7.3	0.7	-	9
		小 計	694	321.9	282.4	47.7	-	652
	輸入糖	分蜜糖	1,110	294.6	190.8	326.5	311.6	1,123
		含蜜糖	7	1.3	2.4	1.9	0.8	6
		小 計	1,117	295.9	193.2	328.4	312.4	1,130
	合 計	分蜜糖	1,794	615.3	465.9	373.5	311.6	1,766
		含蜜糖	17	2.5	9.7	2.6	0.8	16
		小 計	1,811	617.8	475.6	376.1	312.4	1,782
期末在庫			312	451.3	510.3	437.3	306.8	307

資料：農林水産省「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第1回）」
注1：分蜜糖は精糖ベースの数量、含蜜糖は製品ベースの数量である。
注2：輸入糖の分蜜糖供給量は、機構売買数量である。

表2 令和7砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

		令和7砂糖年度				
		令和6砂糖年度 （実績見込み）	10月－12月	1月－3月	4月－6月	7月－9月
消費量	364	96.7	89.3	85.4	95.3	367
供給量	364	96.7	89.3	85.4	95.3	367

資料：農林水産省「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第1回）」
注1：改正糖価調整法（平成30年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。
注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。
注3：令和7砂糖年度の消費量は、令和6砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 令和7砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	令和6砂糖年度 (実績見込み)	令和7砂糖年度				
		10月－12月	1月－3月	4月－6月	7月－9月	合 計
消費量	764	171.1	176.8	221.4	211.0	780
供給量	764	171.1	176.8	221.4	211.0	780

資料：農林水産省「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第1回）」
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2 輸入動向

【粗糖の輸入動向】

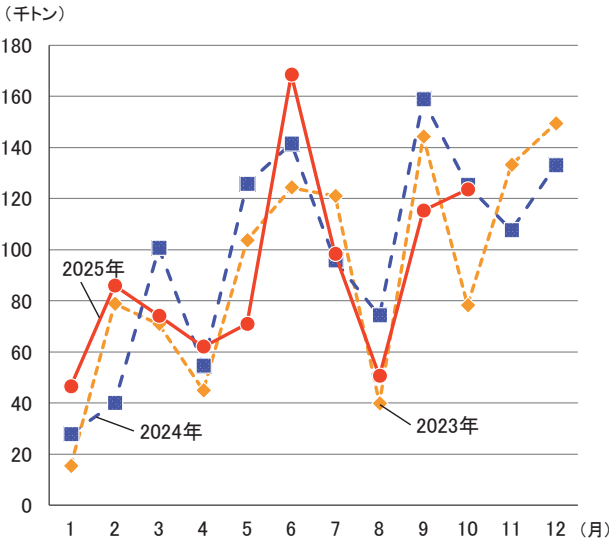
10月の輸入量は前年同月からわずかに減少

財務省「貿易統計」によると、2025年10月の甘しや糖・分蜜糖（HSコード 1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州、以下同じ）の輸入量は、12万3515トン（前年同月比1.4%減、前月比7.2%増）であった（図1）。

輸入先は甘しや糖・分蜜糖についてはタイおよび米国、甘しや糖・その他については豪州で、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図2）。

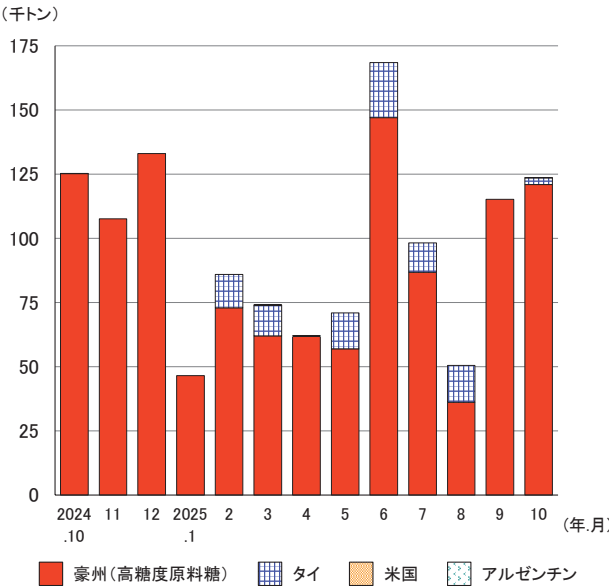
タイ 2602トン
（前年同月および前月輸入実績なし）
米国 19トン
（前年同月同、前月輸入実績なし）
豪州 12万894トン
（同3.4%減、前月比5.0%増）

図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図2 粗糖の国・地域別輸入量の推移



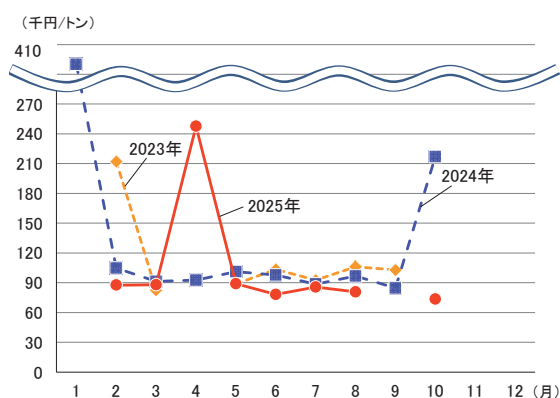
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

2025年10月における甘しや糖・分蜜糖の1トン当たりの輸入価格は7万3678円（前年同月比66.1%安、前月輸入実績なし）（図3）で、甘しや糖・その他の1トン当たりの輸入価格は6万8740円（同19.4%安、前月比2.4%安）であった（図4）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	7万2828円
（前年同月および前月輸入実績なし）	
米国	19万105円
（前年同月比12.4%安、前月輸入実績なし）	

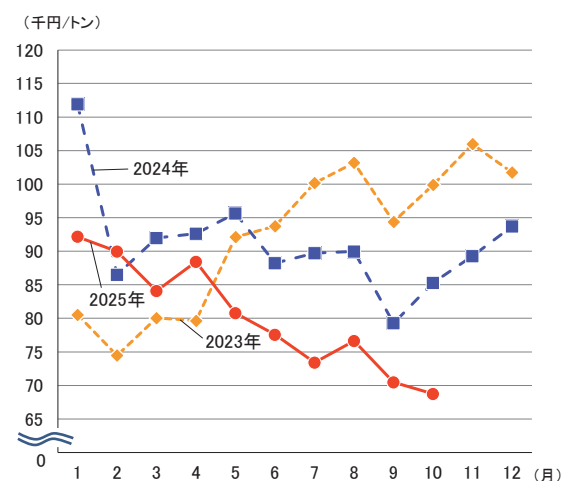
図3 粗糖（HSコード1701.14-110）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：2023年1月、4月、10月、11月、12月、2024年11月、12月、2025年1月および9月は輸入実績なし。

図4 高糖度原料糖（HSコード1701.14-200の豪州）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

【含蜜糖の輸入動向】

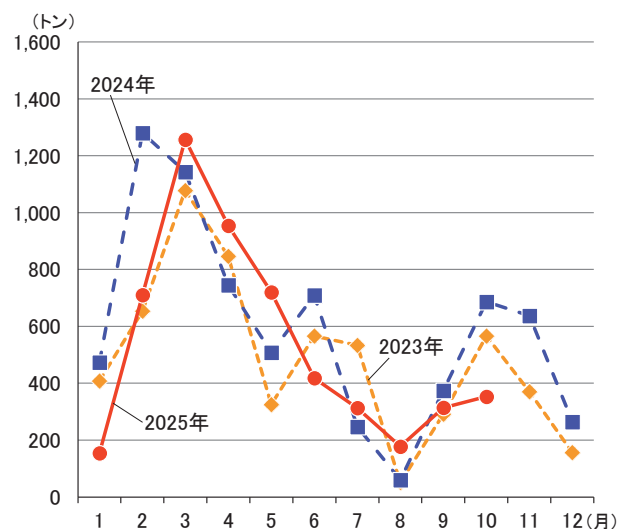
10月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2025年10月の含蜜糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、353トン（前年同月比48.5%減、前月比12.4%増）であった（図5）。

輸入先は中国、タイ、フィリピンおよびインドで、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図6）。

中国	269トン
（前年同月比60.8%減、前月比8.5%減）	
タイ	42トン
（前年同月および前月輸入実績なし）	
フィリピン	41トン
（前年同月輸入実績なし、前月比2.2倍）	
インド	1トン
（前年同月輸入実績なし、前月同）	

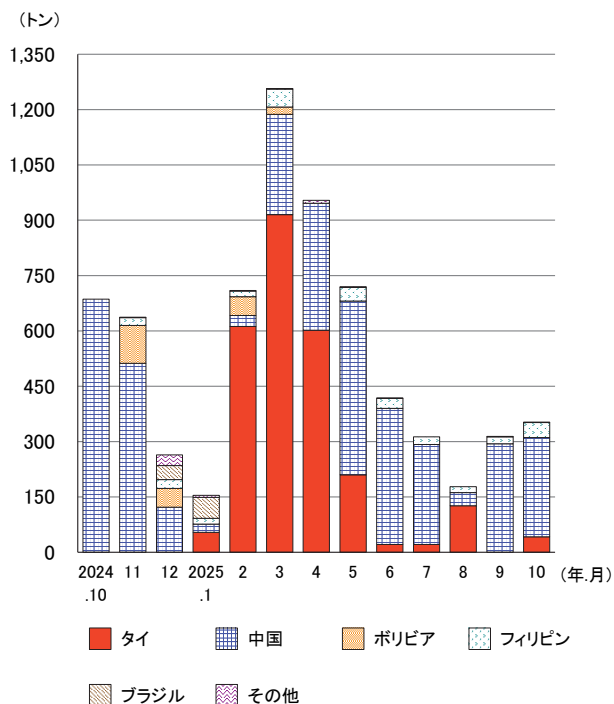
図5 含蜜糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図6 含蜜糖の国・地域別輸入量の推移

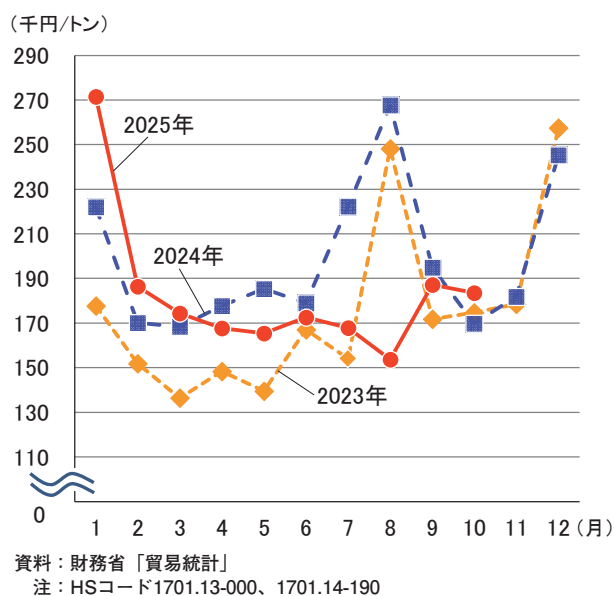


2025年10月の1トン当たりの輸入価格は、18万3586円（前年同月比8.1%高、前月比1.9%安）であった（図7）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国	17万9465円
（前年同月比5.7%高、前月比7.1%高）	
タイ	11万3190円
（前年同月および前月輸入実績なし）	
フィリピン	26万4561円
（前年同月輸入実績なし、前月比42.6%安）	
インド	92万9000円
（前年同月輸入実績なし、同20.5%高）	

図7 含蜜糖の輸入価格の推移



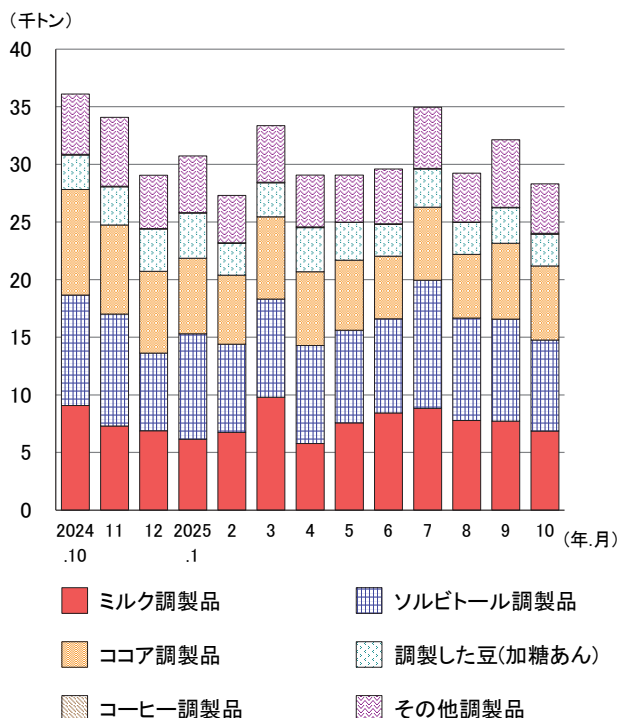
【加糖調製品の輸入動向】

10月の加糖調製品の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2025年10月の加糖調製品の輸入量は、2万8314トン（前年同月比21.6%減、前月比11.9%減）であった（図8）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図8 加糖調製品の品目別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは、次の通り。

ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213

コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246

調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

その他調製品：2008.99-269、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品 品目別輸入量（10月）

(単位：トン)

区分	輸入量	前年同月比 (増減比)	前月比 (増減比)
ミルク調製品	6,872	▲ 24.3%	▲ 11.1%
ソルビトール調製品	7,888	▲ 17.7%	▲ 10.8%
ココア調製品	6,417	▲ 30.0%	▲ 2.6%
調製した豆(加糖あん)	2,758	▲ 7.4%	▲ 10.5%
コーヒー調製品	85	47.1%	169.0%
その他調製品	4,294	▲ 18.1%	▲ 26.9%
合計	28,314	▲ 21.6%	▲ 11.9%

資料：財務省「貿易統計」

注：端数処理の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 異性化糖の移出動向

11月の移出量は前年同月からかなりの程度減少

2025年11月の異性化糖の移出量は、5万5548トン（前年同月比7.2%減、前月比4.0%減）であった（図9）。

同月の種類別の移出量は、次の通りであった（図10）。

果糖含有率40%未満 278トン

（前年同月比2.6%増、前月比0.4%増）

同40%以上50%未満 1万5133トン

（同3.3%減、同6.7%減）

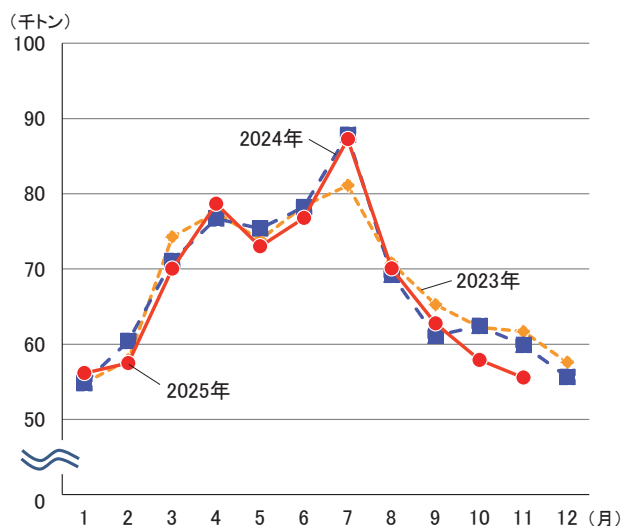
同50%以上60%未満 3万9522トン

（同8.7%減、同2.9%減）

同60%以上 616トン

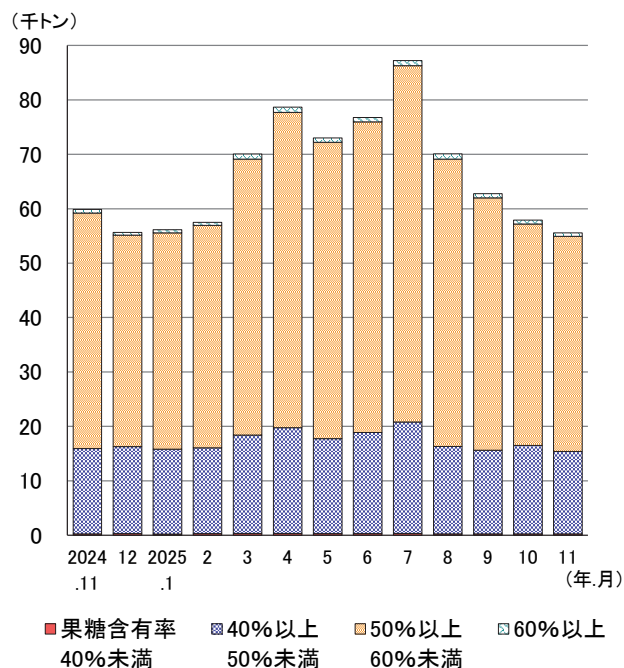
（同8.0%減、同9.2%減）

図9 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図10 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4 価格動向

【市場価格】

上白糖（大袋） および本グラニュー糖（大袋）は前月から8円程度、ビート・グラニュー糖（大袋）は5円程度値下がり

11月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は、次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京 1キログラム当たり241～251円

大阪 同241～251円

名古屋 同244～252円

関門 同246～254円

上白糖（小袋）

東京 1キログラム当たり261～265円

大阪 同264～265円

本グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり246～256円

大阪 同246～256円

名古屋 同249～257円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり244～251円

大阪 同244～251円

名古屋 同245～250円

11月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり167～168円

果糖分55%もの

同173～174円

【小売価格】

11月の上白糖小袋の平均小売価格は266.3円

マーチャンダイジング・オンRDSPOS（〈全国3800店舗〉、以下同じ）によると、スーパーにおける11月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、266.3円（前年同月差0.6円高、前月差4.5円安）であった。最も高かったのは北海道で、最も安かったのは関東などであった。

同月の地域別^{（注）}の平均小売価格は、次の通りであった（表5）。

（注）地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表5 上白糖の地域別平均小売価格（11月）

(単位：円/kg)

地域	平均 価格	前年同月 価格差	前月 価格差
北海道	301.8	11.7	0.1
東北	281.4	1.7	▲ 2.4
関東など	247.4	▲ 9.5	▲ 2.8
首都圏	254.1	▲ 10.3	▲ 20.2
中部	271.8	9.6	0.3
関西	257.2	4.8	▲ 2.4
中国・四国	281.5	4.5	▲ 1.0
九州・沖縄	277.4	3.9	▲ 0.9

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンドライジング・オンRDS POS（全国3800店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンドライジング・オンRDSPOSデータ内における価格差である。

11月のグラニュー糖小袋の平均小売価格は330.7円

スーパーにおける11月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、330.7円（前年同月差6.6円高、前月差0.1円安）であった。最も高かったのは東北で、最も安かったのは関西であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表6）。

表6 グラニュー糖の地域別平均小売価格（11月）

(単位：円/kg)

地域	平均 価格	前年同月 価格差	前月 価格差
北海道	321.9	5.0	0.4
東北	360.1	0.7	▲ 0.3
関東など	322.6	▲ 1.4	0.0
首都圏	327.9	2.6	0.0
中部	355.7	13.6	0.4
関西	306.9	17.6	5.1
中国・四国	330.4	6.4	▲ 3.3
九州・沖縄	333.2	5.9	▲ 1.4

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンドライジング・オンRDS POS（全国3800店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンドライジング・オンRDSPOSデータ内における価格差である。

11月の三温糖小袋の平均小売価格は309.8円

スーパーにおける11月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、309.8円（前年同月差2.8円高、前月差1.7円安）であった。最も高かったのは北海道で、最も安かったのは首都圏であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表7）。

表7 三温糖の地域別平均小売価格（11月）

(単位：円/kg)

地域	平均 価格	前年同月 価格差	前月 価格差
北海道	367.5	22.4	▲ 2.1
東北	339.9	▲ 1.7	0.3
関東など	297.1	▲ 6.2	1.0
首都圏	287.8	▲ 2.5	▲ 5.3
中部	333.6	11.0	▲ 6.7
関西	295.4	11.1	1.2
中国・四国	336.2	1.4	▲ 0.1
九州・沖縄	302.2	10.0	1.7

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンドライジング・オンRDS POS（全国3800店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンドライジング・オンRDSPOSデータ内における価格差である。

【支出金額および購入数量】

10月の砂糖の支出金額は前年同月からかなり大きく下落

総務省「家計調査」によると、2025年10月における1世帯（二人以上）当たりの支出金額は83円（前年同月比12.6%安、前月比6.4%高）であった（図11）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、229グラム（同24.2%減、同1.8%増）であった（図12）。

図11 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移

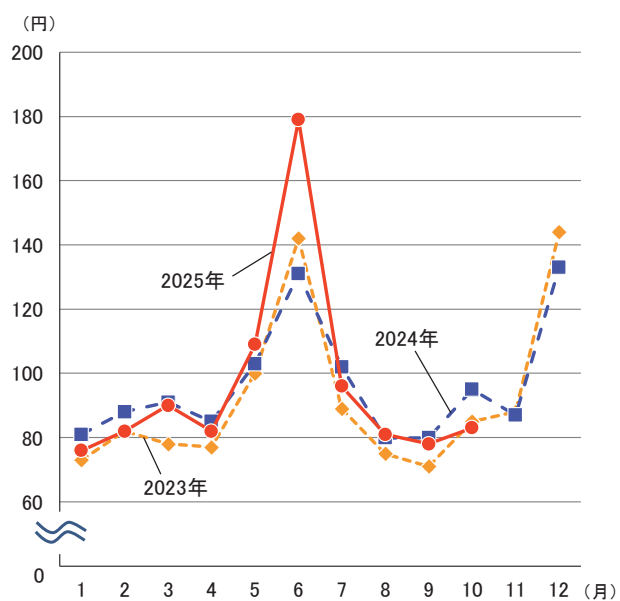


図12 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移

